

八街歴史探訪(43) 明治時代の八街⑥

今回は、八街開墾の中で富山区の開墾に関わった倉次亨(くらなみ とおる)を紹介...

倉次亨は、文政12(1829)年、佐倉藩士の家に生まれました。幼少期から武芸に励み、幕末期には、尊皇攘夷を唱えていた水戸天狗党が決起した際、この討伐に動いていた佐倉藩の総指揮官として活躍しました。

明治に入ると、職を失った旧佐倉藩士に仕事を与え、救済するための会社設立を計画していた旧佐倉藩士の西村茂樹(にしむら しげき)の考案に亨も賛同します。亨は製茶事業に力を入れ、明治4(1871)年10月に、製茶会社「佐倉同協社」を現在の富山区に設立しました。社名は「みんなで同じ心を持ち、力を合わせる」といった「同心協力」が由来となっていました。茶栽培を取り上げた理由...



倉次 亨

郷土資料館 443-1726

春季全国火災予防運動実施 3月1日~7日

全国統一防火標語 火の用心

ことばを形に 習慣に

この運動は、火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、火災予防思想の一層の普及を図ることで、火災の発生を防止し、高齢者などを中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的として毎年実施しています。

「たき火による 火災が増えています」

平成29年中の佐倉市、八街市および酒々井町で発生した火災件数は99件で、出火原因の第1位は「たき火」です。たき火をしている間は、必ず消火の準備を行い、その場を離れてはいけません。また、たき火が終わった後は、確実に消火しましょう。風の強い日や空気が乾燥した日に、たき火を行わないようにしましょう。

「住宅防火 いのちを守る 7つのポイント」

3つの習慣 寝たばこは、絶対やめる。ストーブは燃えやすいものから離れた位置で使用する。ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

4つの対策 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。寝具、衣類およびカーテン

からの火災を防ぐために、防災品を使用する。火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器などを設置する。お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

「わが家の火災警報器、いますぐチェック」

住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで、火災を感じしなくなることがあるため、とても危険です。10年を目安に交換しましょう。ボタンを押す、またはひもをひいて作動確認をしましょう。10年経っていないくても、故障などの場合は交換が必要です。

設置時期を確認してみましょう。火災警報器を設置したときに記入した「設置年月」、または、本体に記載されている「製造年」を確認してください。

佐倉市八街市酒々井町 消防組合消防本部予防課 481-1217



自衛官募集案内

Table with columns: 募集種目, 資格, 受付期間. Rows include general recruitment, staff recruitment, and dental/pharmacy recruitment.

3月の移動交番情報

Calendar table for March showing rotation points (e.g., ①ファミリーマート, ②八街五方杭店) for each day.

※午前・午前10時~11時30分 ※諸事情により開設できない場合もあります。 佐倉警察署八街幹部交番 443-1110

記号の見方 時日時 場会場 内容 対象 定員 費参加費 申し込み 締め切り 持ち物 問い合わせ

FAX 444-0815



自衛隊千葉地方協力本部成田地域事務所 0476-22-6275 自衛官募集ホームページ http://www.mod.go.jp/gsd/jieikanbosyu/

成田地域事務所 QRコード